

本研究参加機関に、通院又は入院されたことがある患者さんまたは
ご家族の方へ
（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号）」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の連絡先へご照会ください。

[研究課題名]

非小細胞肺癌の術後局所再発における化学放射線療法および化学放射線療法後デュルバルマブ維持療法の有効性および安全性を検討する多機関共同後ろ向き観察研究（NEJ056）

[研究代表機関名・所属・研究代表者名／実施機関の長の氏名]

国立病院機構 北海道がんセンター・呼吸器内科・朝比奈 肇 / 加藤 秀則

[共同研究機関名・研究責任者名・実施機関の長の氏名]

別紙参照

[研究の目的]

非小細胞肺癌の術後局所再発に対する標準治療は確立していないため、非小細胞肺癌の術後局所再発患者さんに対する化学放射線療法および化学放射線療法後デュルバルマブ維持療法の有効性を後方視的に検討し明らかにすることを目的としています。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

以下の全てを満たす方が対象となります。

- (1) 非小細胞肺癌の術後局所再発の患者さんで、根治的化学放射線療法後デュルバルマブ維持療法を受けていない方、もしくは根治的化学放射線療法後デュルバルマブ維持療法の治療を受けた方。
- (2) 2016年1月1日から2020年12月31日までに化学放射線療法が開始され、化学放射線療法後の初回評価で疾患進行が認められなかった方。
- (3) デュルバルマブ維持療法を受けていない方は根治照射終了日が2018年4月30日までの方。

○利用する情報

情報：病歴、年齢、性別、治療歴、検査結果（画像検査、病理検査結果等）、副作用等の発生状況、来院状況、治療情報、転帰 等

施設名	研究責任者	機関の長
国立病院機構 北海道がんセンター	朝比奈 肇	加藤 秀則
JA 北海道厚生連 帯広厚生病院	菊池 創	大瀧 雅文
市立札幌病院	本村 文宏	西川 秀司
北海道大学病院	古田 恵	渥美 達也
函館五稜郭病院	角 俊行	中田 智明
市立釧路総合病院	北村 康夫	森田 研
王子総合病院	河井 康孝	岩井 和浩
弘前大学医学部附属病院	田中 寿志	袴田 健一
岩手医科大学附属病院	長島 広相	小川 彰
岩手県立胆沢病院	菊池 崇史	勝又 宇一郎
東北医科薬科大学病院	吉村 成央	佐藤 賢一
東北大学病院	渋谷 里紗	張替 秀郎
秋田厚生医療センター	守田 亮	柴田 聡
仙台厚生病院	川嶋 庸介	山内 淳一郎
自治医科大学附属病院	瀧上 理子	川合 謙介
埼玉医科大学国際医療センター	各務 博	佐伯 俊昭
埼玉医科大学総合医療センター	小山 信之	別宮 好文
自治医科大学附属病院さいたま医療センター	長井 良昭	遠藤 俊輔
千葉県がんセンター	芦沼 宏典	藤里 正視
千葉大学医学部附属病院	鈴木 拓児	横手 幸太郎
聖路加国際病院	西村 直樹	石松 伸一
国立病院機構 災害医療センター	上村 光弘	大友 康裕
日本医科大学附属病院	清家 正博	汲田 伸一郎
順天堂大学医学部附属順天堂医院	宮脇 太一	高橋 和久
国立がん研究センター中央病院	堀之内 秀仁	島田 和明
国家公務員共済組合連合会 横須賀共済病院	坂下 博之	長堀 薫
長岡中央総合病院	岩島 明	矢尻 洋一
新潟大学医歯学総合病院	渡部 聡	富田 善彦
新潟県立中央病院	石川 大輔	長谷川 正樹
富山大学附属病院	猪又 峰彦	林 篤志

2023年5月1日（第1.3版）

静岡がんセンター	三浦 啓太	小野 裕之
信州大学医学部附属病院	立石 一成	花岡 正幸
愛知県がんセンター	山口 哲平	山本 一仁
藤田医科大学病院	後藤 康洋	湯澤 由紀夫
松阪市民病院	伊藤 健太郎	畑地 治
関西医科大学附属病院	吉岡 弘鎮	松田 公志
大阪府済生会吹田病院	岡田 あすか	島 俊英
神戸大学医学部附属病院	立原 素子	眞庭 謙昌
兵庫県立がんセンター	伊藤 彰一	富永 正寛
岡山赤十字病院	萱谷 紘枝	辻 尚志
県立広島病院	石川 暢久	板本 敏行
山口大学医学部附属病院	山路 義和	松永 和人
四国がんセンター	加藤 有加	山下 素弘
福岡大学病院	藤田 昌樹	小玉 正太
国立病院機構 名古屋医療センター	沖 昌英	長谷川 好規
旭川医療センター	藤田 結花	木村 隆